



### 「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 埼玉南部の集いin戸田」から ◎蛍について

<質問要約>

地元の川に蛍を再生したいと思いますが、どのようにしたらよいのでしょうか？

<比嘉教授からのコメント>

蛍の棲息には、エサとなるカワニナが育つ環境にすることが第一です。そのためには、農薬や合成洗剤などの化学薬品が入らないようにしなければなりません。

EM 活性液を流し続け川底の石のヌメリが取れるようになれば、EM が定着した指標となります。このような状態になると汚染物質が分解されカワニナが良く育つようになり、蛍が発生する環境に整ったこととなります。

### EM 散布が空間線量に与える影響について(住宅地での事例)

U ネット震災復興支援活動の一環として、EM 活性液の培養・供給拠点となっている福島県いわき市平成の「EM とじょうろの会」様から、以下のご報告をいただきました。

100 平米の庭に EM 活性液を希釈せず毎週 60L 散布したところ、二か月で次のように変化しました。

平成 24 年 4 月 14 日	0.28	0.33	0.29	0.32	0.21
平成 24 年 6 月 12 日	0.22	0.27	0.27	0.27	0.17

単位は、 $\mu\text{Sv}/\text{時}$

測定器を地面においた状態で測定

一件大きく変化していないように見えますが、近隣で EM 散布をしていない住宅では次のように空間線量はむしろ高くなる傾向がみられました。

平成 23 年 10 月 7 日	0.38	0.32	0.20	0.24
平成 24 年 6 月 10 日	0.47	0.34	0.34	0.27

単位は、 $\mu\text{Sv}/\text{時}$

測定器を地面においた状態で測定

2012 年 6 月 17 日付「千葉日報」記事をご紹介します

### イワシ大量死で悪臭対策 EM菌消臭も大原漁港(千葉県)

今月上旬、カタクチイワシの大群が流入したいすみ市の大原漁港の船着き場で 16 日海底に堆積した大量の死骸をしゅんせつする緊急作業が始まった。

悪臭の原因となっているためだ。県がポンプで死骸をくみ上げる一方、市は海底と同じく臭いの発生源となっている埋設場所に EM 菌(有用微生物群)を投入して消臭に当たっている。

市農林水産課によると、死骸は今月 4、5、6 日に計 250 トンが回収された。

船引き場に打ち上げられたり船着き場の海面に浮かんだものを漁師がたも網ですくい上げるなどした。その後、潜水士の調べで深さ約 5 メートルの海底の広範囲に 10~30 センチの厚さで死骸が堆積していることが判明。これを受け、県は「特定漁港維持しゅんせつ事業」を実施。砂を吸い上げるサンドポンプを備えたクレーンと 300 トンの容量がある「土運船」を調達し、幅 100 メートル、奥行き 80 メートルにわたり臭いの元を根こそぎ取り除くことにした。事業費は約 1 千万円。

### ◇◇◇◇◇ イベントのご案内 ◇◇◇◇◇

◆EM サミット in 東京 発酵力で生き残ろう! 未来おかんたち、ナウシカたち 集まれ!

【日 時】7 月 8 日(日) 10:00~17:00 【会 場】東京総合美容専門学校 7 階マルチホール

【内 容】市民による EM 放射能対策、研究発表、杉本一朗医師のご講演など 【参加費】1,000 円

【主 催】NPO チェルノブイリへのかけはし、EM 女子会・東京 EM サミット実行委員会

【お問い合わせ】[tokyo@emsummit.org](mailto:tokyo@emsummit.org)

◆海の日 EM 一斉投入、次々とお申込みいただいております。ご連絡お待ちしております!